

「自社製品の魅力をアピールするために」 Laserboxを活用した展示作品の制作

利用者

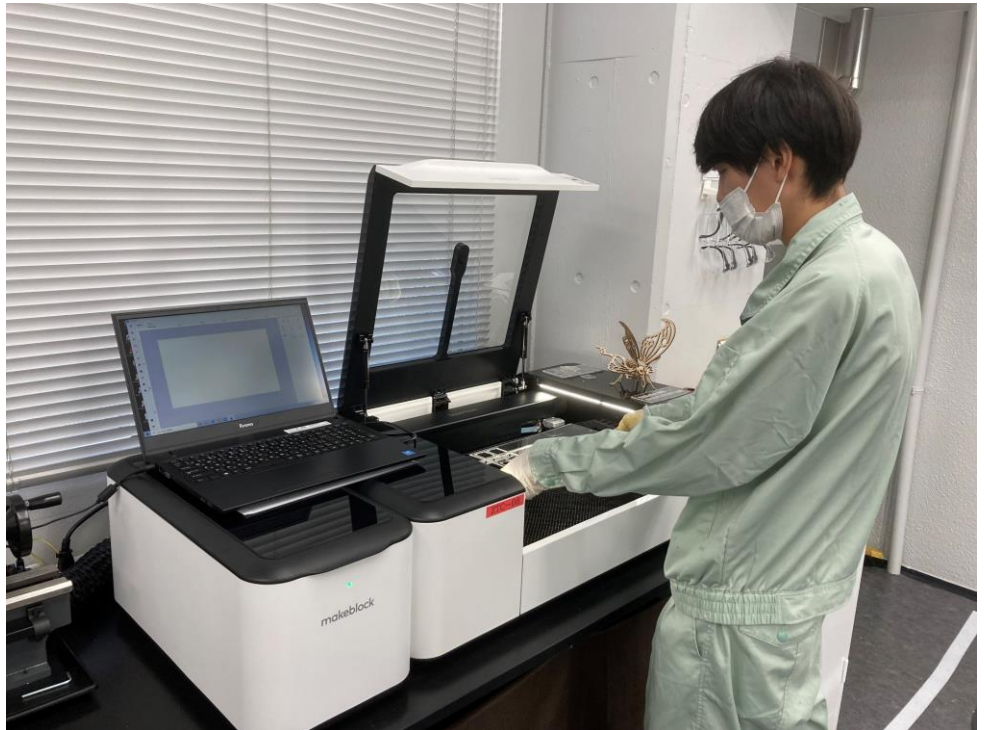
- サカタインクス株式会社
研究開発部 佐々木様
井口様
廣瀬様
開発企画部 中部様

利用製品

- Laserbox

要約

- **業務内容**：導電性インクの研究開発、および宣伝
- **用途**：自社製品の魅力をアピールするための展示作品制作
- **製品の魅力**：主に操作性とコストパフォーマンス。特筆すべきはソフトウェアの使いやすさ、手描きの絵をもとに加工ができる特有の機能、排気装置標準搭載



サカタインクス様は、印刷情報産業の技術革新に貢献することを使命に掲げ、印刷インキ事業をコアとして基盤技術を軸とした新たな研究開発を行われています。この度は、研究用途でLaserboxを導入された背景や活用方法について、研究開発部の佐々木様と井口様にお話を伺いました。

Laserbox × 研究

- サカタインクス様（開発企画・研究開発部）の研究の取り組みを教えてください

私たちの部署では、導電性インクの研究を行っています。導電性インクは幅広い用途で使われており、例えば、太陽電池やタッチパネルといった製品内で使われていたり、書くだけで回路ができる教育用のペンとして使われていたりします。私たちは、そのような汎用性のある自社導電性インクの活用の可能性を探り、自社製品の魅力をアピールする役割も担っているため、導電性インクを使った作品制作も行っています。制作した作品は、展示会などでお客様に製品紹介する際の営業ツールとしても活用しています。

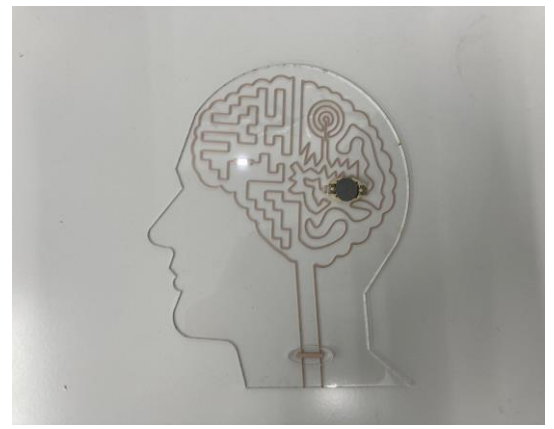
Laserboxを導入した背景

- Laserboxを導入されたきっかけや理由を教えてください

自社製品を紹介するための展示作品制作のための工作ツールを探していました。すでに3Dプリンターや工業用のレーザーカッターも導入していましたが、プロトタイプを作るには時間や労力がかかることもあり、特に操作性がよく機動性があるレーザーカッターがよいと思っていました。そんなときにたまたま展示会でLaserboxを知り、それから他のレーザーカッターとも比較検討しながら、最終的にコストパフォーマンスが決め手となり、Laserboxを導入しました。

- Laserboxをどのように使われていますか

主に木材やプラスチックシートの切断・彫刻に活用しています。例えば、Laserboxでアクリル板を切り出し、そこに導電性インクを使って回路を描き、電池ボックスやLEDもつけて、右の写真のような、導電性インクとアクリル板を組み合わせた作品をつくっています。さらに、お客様のアイキャッチの効果を高めるため、作品によっては彫刻なども活用しています。使用頻度としては1日に数回使う程度です。



Laserboxの魅力

- Laserboxの魅力を教えてください

インターフェイスを含め操作性がよいというのに尽きます。ソフトウェアも使いやすいです。特に、展示作品のプロトタイプ作成の中ではイメージをすぐ形にしたいというときが多々ありますが、Laserboxは手書きの絵をもとに加工ができる機能があり役に立っています。CADなどの専門的な知識がなかったとしてもすぐに使うことができるのは大きいです。

コストの面でいうと、排気装置があらかじめセットになっているのもとてもいいと思います。自分で組み立てるものと比較すれば若干高くはなりますが、それでも工業用のものと比べればとても安いです。完成品で総合的にコストパフォーマンスは非常に優れていると思います。また、設置環境の面でも、排気装置があることで、ダクト工事などが不要な点はとてもありがたいです。



Laserboxの可能性

- Laserboxはどんな方におすすめですか

私たちのように、自社製品の宣伝のための作品作りや、ノベルティなどの宣伝物作りなど、幅広い場面で活用できると思います。すでに何かしらの工作ツール（3Dプリンターや工業用レーザーカッター）を導入していたとしても、作品のプロトタイプ作成にはLaserboxは非常に便利です。また、操作性のよさやコストパフォーマンスの高さから、導入のハードルが低いため、はじめて導入される企業にもおすすめできると思います。